蔵前工業会
神奈川県支
部・講演会

隣りのチャイナ最新事情

—— 胡錦濤－温家宝政権の発展戦略 ——

2008.10.8
橋爪大三郎
（東京工業大）

□0□ 講師自己紹介

はしづめ　だいさぶろう……1948年神奈川県生まれ。東大大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。執筆活動を経て、現在、東京工業大学大学院社会理工学研究科・価値システム専攻教授。社会学者。

著書……『言語ゲームと社会理論』『仏教の言説戦略』『現代思想はいま何を考えればよいのか』『その先の日本国へ』（以上、勁草書房）、『言語派社会学の原理』（洋泉社）、『冒険としての社会科学』（洋泉社新書MC）、『橋爪大三郎の社会学講義』『橋爪大三郎の政治経済学講義』（ちくま学芸文庫）、『民主主義は最高の政治制度である』（現代書館）、『小室直樹の学問と思想』（共著、弓立社）、『はじめての構造主義』（講談社現代新書）、『こんなに困った北朝鮮』（メタローグ）、『正義・戦争・国家論』『自分を活かす思想／社会を生きる思想』『天皇の戦争責任』（以上、共著、径書房）、『ヴォーゲル、日本とアジアを語る』（共著、平凡社新書）、『政治の教室』『人間にとって法とは何か』『アメリカの行動原理』（以上、ＰＨＰ新書）、『「心」はあるのか』（ちくま新書）、『世界がわかる宗教社会学入門』（筑摩書房）、『「炭素会計」入門』（洋泉社新書ｙ）、『社会の不思議』（朝日出版社）、『隣りのチャイナ』（夏目書房）ほか。

http://www.valdes.titech.ac.jp/~hashizm/

□1□ チャイナ原論

1）文明としての中国／ローカル文化としての日本

・中国は、古代に成立した「中華共同体」（ＣＵ）である　　Cf ＥＵ
・中国の方言は、互いに通じない　広東語／北京語／上海語≒英語／ドイツ語／仏語…
・表意文字である漢字が、中国を統一　中国語は人工言語（数・変化・時制などなし）

2）中国社会の基本構造

・上部に官僚組織　貴族／地主／読書人／軍人／宦官　→読書人が勝ち残る（皇帝専制）
・下部に地方組織　宗族（父系血縁集団・同姓）　承包（丸投げ）の体制
・数百年に一度、政治的混乱⇒王朝の交代　所有権の否定　セキュリティとしての親族

3）儒教の本質

・差別道徳：重要な人間関係を選別、集団における権力と正統性の所在を明示
・君主に服従（忠／義）～官僚機構　年長者に服従（孝／長幼の序）～宗族
・忠と孝では孝が優先　君主が暴君なら討伐してよい（湯武放伐論）～孟子の革命説

4）中華人民共和国とは何か

・毛沢東の革命　農民を主体に、地主を打倒：伝統的革命　農本主義的ユートピア
・共産党の官僚組織は、伝統的なものよりも、社会の下部に達している：「単位」制度
・社会主義市場経済……資本主義×一党独裁　歴史的概念としては「ファシズム」
・党組織部　「档案」制度　書記と組織長の二重制

□2□ 深化する改革開放 ——胡錦濤－温家宝政権の課題

＊ ここの内容は、胡鞍鋼 Hu AnGang『影響決策的国情報告』『新発展観』と、『隣りのチャイナ　橋爪大三郎の中国論』に基づきます。

1）経済成長

・1978年から年率９％の成長が続く　実質で日本を追い抜き、アメリカに追いつく勢い
・ボトルネック要因…失業や貧困／腐敗／伝染病／水資源／資源価格／金融／海外投資／台湾問題など政治的緊張　ジニ係数は80年代初の0.28→1999年の0.44に急上昇

2）失業問題
・1993～1997年のレイオフ累計は1200万人、失業率は７％　国有企業整理の峠は越えた
・東北三省（遼寧省、吉林省、黒竜江省）と中西部では、国有企業の比重が高く失業深刻
・全人代：2003年に 800万の職場創出　労働集約産業／中小企業／非公有／非正規就業
・給与年金の遅配欠配　全労働者の六分の一　国有企業が退職者の生活を支え負担が大
3）農村問題
・戸口（戸籍）制度：農村から都市への移動制限（1958年から厳格に適用）
・農民工：累計１億人　農村非農業人口１億７千万人　改革開放で 2.4億人が都市へ
・三農問題（農業、農村、農民）　農産物価格の40%下落(1997-2000)　ｲﾝﾌﾗ投資の遅れ
4）地域格差問題　「一個中国、四個世界」　小康社会→和諧（調和）社会 ，
・北京・上海(2.7%)／天津、浙江省…(21.8%) ／山東省…(27.8%) ／四川省…(50.6%)
・貧困人口は20%　「小康社会」：十六大の重点目標に　富裕／小康／温飽／貧困
・先富論⇒共同富裕論　西部大開発　ひとつの大切、五つの優先　富民為本＝雇用確保／社会保障改革／社会の安定／分配の公平／都市の低所得層の利益、を優先する
5）腐敗問題
・「官倒爺」（官僚の横流し）→許認可をめぐる不正→「壟断」（官僚主導の寡占独占）
・腐敗による経済損失はＧＤＰの13～16%　汚職／関税逃れ／壟断（電気代など）／税の未納／税の無駄／公共投資の損失／国外逃亡資金／違法な徴収／金融の損失
・電力改革：政企分離／廠網分解／全国ネット　鉄道改革　電信改革　航空改革
6）環境問題
・土壌流出（国土の38%）／荒れ地拡大／森林赤字／砂漠化（草原の1/3 が消滅）／大気汚染と酸性雨／水質汚染　原因…人口増加＋都市化＋経済成長＋貧困
7）政治指導者
・鄧小平が終身制を廃止　江沢民が定年制・任期制を採用　→　幹部の交代が予測可能に
・若返り　十二大73.8歳→十三大63.6歳　高学歴化　十二大10.3年→十五大15.9年
・閣僚級幹部のうち、85%が、省級幹部経験者　ただし地域に偏りがある
8）国際関係
・2020年、中国は強盛期に　経済的実力＋総合的国力＋生活水準　党と大衆の結合
・中国はアメリカとの友好関係を必要とするが、すでにアメリカと戦略的対抗関係に
9）政治改革と民主化
・「人民内部の矛盾」“人民大衆を敵とみなすのは誤り”（劉少奇）
・中国建国以来の誤り　1)階級闘争を優先　2)性急な経済建設　3)人口政策の失敗　～毛
・2002年十六大報告：意思決定の科学化・民主化を進めよう

□3□　世界のなかの日中関係
1）２１世紀前半は米中関係が基軸
・アメリカ～新大陸／中国～旧大陸　対照的で相互補完的　アメリカの中国封じ込め
・日米関係、日中関係は、米中関係の従属変数　日本の対米、対中戦略を構想すべき
2）「歴史問題」は、東アジアの主導権問題だ
・中国反日デモの背景…党の黙認／党の統制／対日問題（安保理拡大、ＭＤ）
・中国は靖国神社がうらやましいのでは　人民英雄記念碑　地方での追悼は禁止
・安倍、福田首相は、中国に受けがよかった　麻生首相はどうか
3）台湾問題
・国民党主席の直接選挙(2005.7)…台湾民主化の完成　⇒共産党になぜできない？
・アメリカは台湾を防衛⇒日本も同調⇒中国は対米衝突を避けたいので、むしろ助かる
4）長期的な対中戦略を
・地域的な重心は中国に傾く＋韓国・朝鮮　アメリカは牽制してインド、日本にテコ入れ
・中国とアメリカが握手しても、喧嘩しても、日本は割りを喰う　⇒その中間に活路